

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で、柔らかいスポンジ・ブラシで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

※汚れなどが付着していたり、飲みものを長時間入れたままにしているとにおいが発生する場合があります。その際はしっかりとお手入れしてください。
※においが気になる場合には、お湯で薄めた食器用洗剤を柄のついたスポンジに含ませて何回か洗い、十分に乾燥させてください。

中栓(ふた)

パッキンを取りはずして、食器用洗剤を薄めたぬるま湯で、柔らかいスポンジなどで洗った後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

パッキン

パッキンを中栓(ふた)から取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ポット内びんにサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

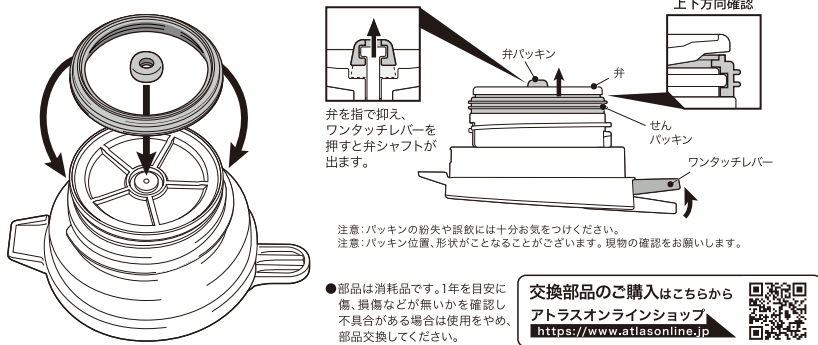
水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、中栓(ふた)を取り付けず、3時間程放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体や中栓(ふた)の煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 本体・中栓(ふた)の浸け置き洗いなどはしないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 中栓(ふた)を本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でこなしてください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどでせんパッキン・弁パッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。



製品仕様

材料の種類	
本 体	内びん/ステンレス鋼 胴 部/ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
口金・ハンドル	ポリプロピレン
中 栓 (ふ た)	ポリプロピレン
レ パ ー	ポリプロピレン
パ ッ キ ン	シリコーンゴム

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
https://www.atlas-scm.jp/

お問い合わせ

TEL.042-660-8870
受付時間 / 9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

MADE IN CHINA

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

取扱説明書

ACS-653,803

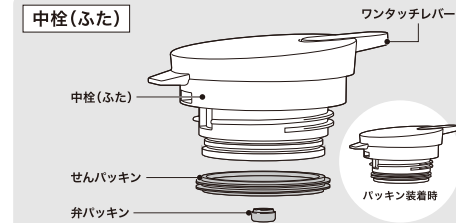
このたびは、当社のステンレス卓上ポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は、万が一使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用前に

- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、使用しないでください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になる前は、食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のものとなる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



▲ ご使用上の注意

- 本製品の構造上、全て注ぎ終えた後でも飲みものがポット内に若干残っている場合があります。また、洗浄後にも水分が若干残る場合があります。
- 熱い飲みものを入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造上不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

- 熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。
熱い飲みものを入れても本体外側は断熱効果により熱くはなりません。熱くなる場合は使用しないでください。(やけどのおそれがあります)

- 飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
故障や事故の原因になります。

- お子さまだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところでは使用しないでください。
また、幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらにも注意してください。
やけど・けがなどのおそれがあります。

- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また直射日光の当たる場所、屋外で使用しないでください。
変形や変色の原因になります。

- 倒したり、落したり、ぶつかけたり、製品に強い衝撃、振動を与えないでください。
保温・保冷効果が低下するなど故障や製品が破損するおそれがあります。

- 飲みものは中栓(ふた)下端より少なめに入れてください。
入れすぎると内圧で内容物が噴き出し、やけど・けがのおそれがあります。

- お湯を入れた直後は、数十秒おいてから中栓(ふた)をしてください。
ワンタッチレバーを押した際、内圧で内容物が噴き出すおそれがあります。
やけど・けがのおそれがあります。

- ハンドルを持ちワンタッチレバーを押しながら、少しずつ傾けながら注いでください。
傾け始めてからワンタッチレバーを押すと内容物が漏れてやけどやものを汚す原因になります。

- コップ等に注ぎ終わったら平な安定した場所に置いてください。
漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

- 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。
漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

- 中栓(ふた)は確実に閉めてください。沸騰直後の熱湯を入れますとポット内部の圧が上がり、ワンタッチレバー・中栓(ふた)が開きにくくなることがあります。また閉め方が不十分だと漏れてやけどやものを汚す原因になります。

- サーバーを転倒させたり、ゆすったりしないでください。また、持ち運ぶ際はハンドルを持ってください。
内容物が漏れるおそれがあります。
漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

- 熱い飲みものを入れて使用する場合には、横転させて中身が流れ出ないように注意してご使用ください。

- 熱いやかんなどを口金に当てないでください。
転倒して、やけど・けがなどの危険があります。またキズや変形の原因になります。

- 火にかける、電子レンジを使用するなどは、絶対にしないでください。
火災や、やけどの原因となり大変危険です。

- 絶対に修理・分解・改造はおこなわないでください。
故障や事故の原因になります。

- 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。
腐敗や変質の原因になります。

- お茶などはお早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

- お茶・コーヒーを入れた後は必ずお手入れをしてください。
飲みものが出なくなる原因になります。

- 次のものは絶対に入れないでください。
※ドライアイスや炭酸飲料など。内圧が上がり、内容物が噴き出るおそれがあります。
※牛乳・乳製品・果汁など。
※味噌汁・スープなどの塩分を含んだもの。サビのおそれがあります。
※果肉・お茶の葉など。つまり、漏れるなどの原因となるおそれがあります。

- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズや漏れの原因になります。

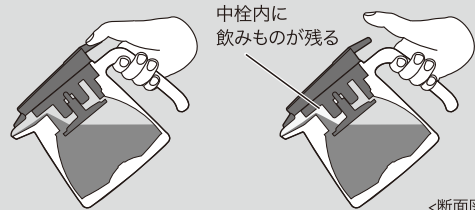
- 缶ジュース・缶ビールなどを容器ごと入れないでください。
変形し、故障の原因となります。

- お湯を入れる際、少なめに入れてご使用ください。入れすぎると内圧で内容物が噴き出すおそれがあります。
やけど・けがのおそれがあります。

- アルコール類は入れないでください。

● 注 意 ●

※注いだ後、本体を傾けた状態でレバーを離すと、中栓(ふた)内に飲みものが残ります。



<断面図>

ご使用方法

※ご使用前に中栓(ふた)、本体(胴部・内びん)を十分に洗ってください。
詳しくは「お手入れ方法」をご確認ください。

ドリッパーご使用上の注意

- ドリッパーをご使用の場合は転倒などに十分気をつけてご使用ください。
- ドリッパーはサイズによって一部使用できないものもございます。

1 ふたをはずす

ふたを矢印の方向にまわしてはずします。



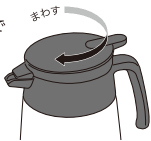
2 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、ふたを閉めたときに飲みものがあふれ出す原因になります。



3 ふたを閉める

ふたを矢印の方向にまわしてレバーとハンドルが揃う位置まで確実に締めます。



4 飲みものを注ぐ

①ハンドルを持ち、本体を立てた状態でレバーを押して下げます。

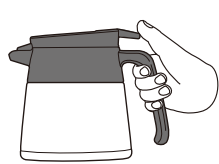


②レバーを押したまま、ゆっくり傾けながら飲みものを注ぎます。



5 注ぎ終わり

①レバーを押したまま、本体を立てた状態に戻します。



②レバーをはなします。

